

山行報告書

行管理部

例会山行 天王山～解散後サントリービール工場見学 8月28日

Ｌ吉田(隆)・森山・加藤・森(備) 参加43名(内一般2名)
JR山崎駅 9:30—宝寺 9:45—天王山 10:20—小倉山分岐 10:45—小倉神社 11:45—11:50(トレ、昼食) 山行解散—サントリービール工場見学

天気予報は昼過ぎには雨。しかし宝寺では早々と雨がボツボツ。雨具を着用するほどでもなく、暑い直射日光よりはましか?と思いながら全員傘をさして出発。山を軽く見たわけでもないが標高270mでも山は山、シンドイ!!「もっとゆっくり歩いて」と後方からの声を聞き、かなりユックリ歩いた。結果息も切れず、汗もホドホド快適で短い山行でした。工場見学(なんと43名全員参加)後、本日本命の試飲に臨みました。おいしい、とれとれの生ビールを頂き、その旨さにおおげさでは有るが疲れも吹っ飛びました。ちなみにグラス4杯の豪の者も居ました。20分間でさぞや忙しかったでしょうね?下地も入っていましたので阪急高槻駅前での反省会は一段と盛り上がりました。

※稲田(理)様(会員)のご尽力で見学者全員にビールグラスを頂きました。

有り難うございました。お礼申し上げます。(吉田(隆) 記)

自然保護部 大台ヶ原(日出が岳) 9月10～11日

Ｌ太田・伊東・石野(博) 参加21名

1日目・JR森ノ宮 07:00 … 10:00 大台ヶ原ビジターセンター(レクチャー)
11:00 … 12:30 展望所(昼食) 13:00 … 13:15 日出が岳 13:25 …
15:00 大蛇岨 15:20 … 17:10 大台ヶ原ビジターセンター 『心・湯治館』(泊)
2日目・大台ヶ原ビジターセンター 08:00 … 08:10 ゲート 08:20 ナゴヤ谷 08:
40 七ツ池 10:05 開拓跡 11:10 大ミズナラ(カボチャの木) 12:00 … 12:10 展
望台(昼食) 12:30 … 12:45 赤い吊り橋 13:30 中ノ谷木橋 14:10 ゲート 14:
20 大台ヶ原ビジターセンター 15:00 … 17:30 JR森ノ宮(解散)

今回の山行は、大台ヶ原でパークボランティアをされている伊東さん、2日間安全運転をしていただいた朝倉さん。お二人の参加で、とても素晴らしい山行になりました。事前申請で、全員分の書類を作成してくださった石野会長。皆さん 本当に、ありがとうございました。入山する前にはレクチャーを受けて、ゲートでは立入認定証を、一人一人チェックして、一度に10名以上は入山させない。山行中も、監視員の方が巡回していて、立入証明証とのチェック。自然を守るという事は、本当に大変な事なのですね。(太田 記)

サロン山行 大和葛城山 9月14～15日 L吉田他9名

14日 阿倍野橋 10:30～尺土―御所～バス～ロープウェイ登山口～12:30 (軽食)
櫛羅の瀧～葛城山ロッヂ 14:40

15日 ロッチ 8:30～山頂～忍海分岐 10:00～笛吹山 10:30～新庄公園墓地～
屋敷山公園 (軽食) ～近鉄新庄駅 12:15 解散

筆者は久し振りの櫛羅の瀧コース、悪路に成ってるのではと気に成りながら出発、瀧に寄ってみると水量は変化無し、濁ってもない、是なら大丈夫、我ら晴れ女だしGTだ。大雨が降った形跡を残す登山道はかなり荒れてる、樹林帯の径は蒸し暑いし時折虫がまつわり付くそれでも楽しい、八合目くらいから小雨に成る、傘を広げながらロッヂに到着する。乾杯の男性群、女性はお風呂、夜のカモ鍋まで思い思いにノンビリ。高齢になったらこんな余裕の持てる山行が理想だなーとつくづく想いながらカモ鍋に舌鼓しました。がらんとしたロッヂの夜は遠慮なくダベリングで盛り上がりました。下山は3年ぶりのダイトレコースを逆進、忍海の下りは手ごわい、V字の砂礫の径は川にもなるし、枝や枯れ葉、山のゴミが積もりそしてひたすら降りだ、これでは人気が無い事が良く分かる。その悪路を我らキャリアの高齢者グループは何の事はなく無事に降りきる。忍海の町は今を盛りにひがんばなが咲き稲穂と相まって綺麗な秋の風景を見せてくれる、其の景色を楽しみながら、晴天のなかを新庄駅に着きました。

人の世の 片隅に生きる ひがんばな (宇野 記)

ウィークデイ 佐和山と彦根城三成展 9月17日 L松本(正) 参加10名
彦根駅 10:00 … 佐和山城模擬天守 10:30 … 11:05 佐和山本丸跡 11:18 … 11:55 大洞弁財天 (昼食) 12:37 … 彦根城黒門 13:42 … 14:15 佐和山口三成展 14:35 … いろは松埋木舎 15:15 (解散)

石田三成の居城であった佐和山城が、彦根城へ移築した歴史を知ってのハイキングコースは興味深いものでした。城郭の好きなリーダーのもと、歴女・歴男(?)にとって魅力ある企画で、次は犬山城、岩村城への遠出コース希望も出されています。(石野明子 記)

土曜山行 越後駒ヶ岳、平ヶ岳 9月17～19日 L乾 参加16名

9/17 (土) 森ノ宮→(北陸道、関越道)→小出IC→17:00 銀山平湖山荘 (泊)

9/18 (日) 銀山平4:00→(近畿バス)→枝折峠(1065m) 5:05 発→明神峠5:38→小倉山7:35→駒ヶ岳(2003m)9:45→小倉山12:00→枝折峠14:20 着→
銀山平湖山荘 (泊)

9/19 (月) 銀山平4:00→(旅館バス)→中ノ岐林道終点平ヶ岳登山口発5:30→
玉子石7:50→平ヶ岳山頂8:40着→中ノ岐登山口11:30着→
銀山平13:00着 13:30銀山平湖山荘発→21:10森ノ宮

17日は移動のみ。

18日、朝から雨模様、雨具をつけて出発。越後駒ヶ岳は昭文社の地図によると歩行時間が往復11時間10分とあったので覚悟して歩き出した。枝折峠から道行山までは樹林帯の中をゆるやかなアップダウンを繰り返しながら進む。このあたりから雨がほとんどあがり、あまりの暑さにカップを脱ぐ。雲海から頭を出した荒沢岳などを見ながらしばしの展望を楽しんだ。小倉山あたりからまた雨が降り出し、頂上近くの岩場では風と雨でさっきの暑さがうそのよう。風に足をすくわれないように慎重に登った。頂上では記念撮影もそこそこにすぐに下山。同じ道のピストンだったが帰りの道はとっても長く感じられた。夕食時に宿のご主人からスライドを見ながら明日の平ヶ岳の説明があった。雨がひどいと川の水があふれる場所がありバスが登山口まで行けないこともあるということ、行けたとしても最初の沢で橋が流されているかもしれないとのこと、登れたとしてもできるだけ早くバスを出さないといけないので、12:30までには登山口まで帰ってくるなどだった。

19日、宿のバスが予定通り4:00に出て5:20に登山口到着。最初に橋を渡ってからは延々と急登が続いた。雨はいっこうにやむ気配なし。2時間半ほどの登りのあと急に視界が開け、いくつかの池塘の中に木道が伸びている風景が目の前に現れた。平ヶ岳の名のおり頂上付近は真っ平らで越後駒とは対照的だった。周りの山々を見ることができなかったのは残念だったがすぐに下山開始。急な下山道はどこどころ川のようになっていたりもしたが、11:30には下山し宿で着替えを済ませ帰阪した。

今回の山行では二山ともピストンだったが、下山道で「こんなところ通ったかな？」ということがしばしばあり、記憶の不確かさを思い知らされました。また8人ずつの2班に分け、班の状況に応じて班独自で行動したのは良かったと思います。(もちろんリーダーさんの力量によるものと思います。)この時期ほとんど花はなく、紅葉が始まったばかり。越後駒で目を引いたのが、ミズナラ?の葉の真ん中に赤い宝石のような実がついているもので、あちこちにありました。帰ってからG野さんが調べてくださりナラハヒラタマルタマバチという昆虫が作った虫こぶで、ナラハヒラタマルタマフシというものだということが判明しました。

最後に、今回の山行で準備から本番まで、大変なご苦勞をおかけした担当者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。 (塚 記)

有志山行 北アルプス 白馬岳 8月12～14日 L高桑 参加6名
(8/12)

JR 尼崎駅南口前 17:50 出発 (駐車場: 車中泊) 白馬八方バス停 13:30 着
バス移動 → 猿倉 5:50 → 白馬尻小屋 07:20 → 大雪溪 8:00 → 岩室跡 10:20
→ 白馬岳山頂 13:50 → 白馬頂上山荘 14:30

(8/13)

A) 白馬頂上山荘 05:25 → 杓子岳 6:40 → 鑓ヶ岳 08:00 → 天狗山荘 08:50 →
鑓温泉小屋 (泊)

B) 白馬頂上山荘 05:25 → 杓子岳 6:40 → 鑓ヶ岳 08:00 → 天狗山荘 08:50 →
天狗頭 09:35 → 不帰嶮ヶ嶮 12:00 → 唐松岳 13:55 → 唐松山荘 14:30 (泊)

(8/14)

A) 鑓温泉小屋 → 猿倉 → 八方 10:30 → 帰阪 21:20

B) 唐松山荘 05:20 → 八方池 07:15 → 八方池山 08:10 → リフト 08:30 →
八方 09:15 → 帰阪 21:20

全日程天気も良く、道路も山も渋滞も無く、昼は絶景を楽しめ、夜はペルセウス
流星群の極大日に当たり、高桑さんの天体講座を聞かせて頂き。下界の喧騒から暫
しの夢心地で癒えました。天狗の頭を過ぎるとぐっと山行者の数も減り、雷鳥親子
連れの見撃情報もあり期待しましたが、取り敢えず一匹だけ見れました。日本三大キ
レットの不帰の嶮もパーティー全員難なく楽しくクリア出来ました。Aコースと
は天狗山荘で別れ、翌日ほぼ時間通り八方にて合流できました。高桑さん一人で5
人も牽引して下さった事に感謝です。 (矢口 記)

有志山行 飯野山 (香川県) 8月30日～31日 L吉田 参加5名

8月30日—梅田 6:51～岡山 9:29～丸亀 10:29 バス登山口 11:38 山頂 13:10

下山、登山口着 14:35～バス丸亀城見学 15:27～ホテル (レオマワールド)

8月31日—ホテル発 8:50～バス坂出 9:35～JR高松 10:00～栗林公園散策～

JR高松 12:10～梅田着 16:43

出発の前日29日は台風10号の影響で大阪は大雨、現地はどうかなと心配した
が当日30日は大快晴。飯野山は422mと低山だが別名讃岐富士の名の通り真に美
しい山容で見惚れてしまう。登山道は歩き易く申し分ない、穏やかな丸亀の町の景
色を眺めながら1時間程で山頂に着き昼食タイム。樹林の中をゆっくり下山。其の
後バスで石垣の見事な丸亀城を見学する。コミュニティバスにてホテル到着。翌日は
丸亀、高松と乗り継ぎ栗林公園をガイドしていただく、松の木の織り成す見事な庭
園を見学する。温泉、うどんに堪能した山旅でした (森下 記)

有志山行 鳳凰三山 8月31日～9月3日 L 堺 参加7名

8月31日(水) 近鉄クリスタルライナー (高速バス) 京都八条口 23:03 発==

9月1日(木) == 葦崎 6:10 着 タクシー 7:00 発== 夜叉神峠登山口 7:40 着
登山口発 8:00→夜叉神峠小屋 9:05→杖立峠 10:45→苺平 13:00→
南御室小屋 13:50 (泊)

9月2日(金) 南御室小屋発 4:50→薬師岳 6:50→観音岳(鳳凰山) 7:15→
アカヌケ沢の頭 9:20→地蔵岳 10:00→鳳凰小屋 10:40~11:30→(下山)→
五色の滝 12:10→白糸の滝 12:50→南精進の滝 14:40→青木鉱泉 16:40
タクシーで葦崎へ(入浴 食事) 近鉄クリスタルライナー 葦崎 22:52 発

9月3日(土) 京都駅八条口 6:19

夜叉神峠登山口を出発すること約1時間で夜叉神峠小屋に到着。一気に展望が開け、白峰三山(北岳、間ノ岳、農鳥岳)が目の前に現れ、思わず全員感動の声をあげる。そのあとも樹林帯から抜け出すたびに三山が一段と大きく見えた。二日目、4:50 出発。樹林帯の間から富士山が見えだす。森林限界を抜けると花崗岩が目立ち始めザレ場を上り下りしながら薬師岳到着。観音岳まではあまりアップダウンもなく北岳の横には今度は甲斐駒ヶ岳の雄姿を見ながらの楽しい稜線歩き。花に詳しい方とご一緒し、いろいろ教えてもらいながらのんびりと地蔵岳をめざす。固有種のタカネビランジとホウオウシャジンも見ることができた。地蔵岳のオベリスクは行けるところまで注意しながら登り、鳳凰小屋で早い目の昼食。あとは下るのみとルンルン気分だったが、下山道が思いのほか厳しく、5時間かけて青木鉱泉にたどり着いた時には全員くたくただった。青木鉱泉が休みだったので、葦崎駅近くの温泉で汗を流し、駅前のファミレスで十分体力を回復 22:52 の夜行バスで帰阪した。

(堺 記)

有志山行 八甲田大岳、奥入瀬溪流散策 9月11日～13日

L 島田、上坂、岸本、亀谷 計4名

9/11(日) 大阪空港 9:00→青森空港 10:50→レンタカー 11:30→奥入瀬石ヶ戸
13:40→子ノ口 16:57→石ヶ戸 17:15→焼山荘 17:30 (泊)

9/12(月) 宿出発 7:50→酸ヶ湯温泉登山口 8:40…仙人岳 10:20…大岳 11:30
…大岳避難小屋 12:00…毛無岱 13:30…酸ヶ湯温泉旅館 15:00

9/13(火) 宿出発 8:00→青森市内観光→青森空港 17:00→大阪空港 18:50

青森空港よりレンタカーを借り奥入瀬の石ヶ戸より子ノ口まで溪流遊歩道を3時間大小さまざまな滝と森林浴を楽しんだ。2日目酸ヶ湯温泉登山口よりなだらかな登山道を進む仙人岳あたりから曇り空に変わり徐々に視界が悪くなる。大小の岩

と急登が続く中、大岳山頂に到着、昨年の夏山で登った岩木山の頂きが雲の隙間から見え隠れする風が冷たく早々に昼食を済ませ出発、毛無岱の木道を進むとウメバチ草が所々に白い花を咲かせナナカマドも色づき始めていた。下山後、酸ヶ湯温泉の千人風呂に浸かり疲れを癒す。3日目朝から曇り空のため八甲田山頂公園を中止し青森観光に変更し「雪中行事遭難資料館」「棟方志功記念館」「ねぶたの家ワ・ラッセ」を巡る。女性4人の山あり観光ありの充実した楽しい三日間でした。

(島田(美) 記)